

令和2年度

事業報告書

令和2年度 高崎市社会福祉協議会事業報告

今般、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、社会生活の制限を余儀なくされ、多くの市民が支援を求める逼迫した状況が続いております。

このような社会情勢のなか、直ちにこの非常事態に対応し、関係機関と連携して生活が困窮した市民への緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を行い、生活支援を続けてきました。さらには、生活困窮者支援のためのフードドライブ事業を積極的に展開し、企業や法人等に呼びかけを行い、「もったいないをありがとうへ」をスローガンに家庭で余っている食品を募り、生活困窮者の支援を行う団体や子ども食堂等に寄附を行いました。

一方で、感染症の拡大防止の観点から、高崎市等との調整のもと、指定管理施設の休館や利用貸出の制限を行ったほか、主催する会議やイベント等を自粛または中止することもありました。

また、同様に地域住民等によるふれあい・いきいきサロンや地区社会福祉協議会などの地域福祉活動やボランティア活動も休止や縮小、延期等、活動の自粛を余儀なくされたことにより、閉じこもりによる高齢者の虚弱化の進行、社会的孤立の深刻さが顕在化しました。

深刻化する生活課題を抱え孤立している世帯に対しては、地域の高齢者あんしんセンターや民生委員児童委員などと連携を図りながら、公的なサービスや買物代行事業、傾聴ボランティア派遣事業などのインフォーマルなサービスの利用につなげるなど、孤立からの脱却および課題解決に向け取り組みました。

新規事業としては、障害者のためのグループホーム一路を1月に開設し、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活が営めるよう、施設運営の体制を図りました。

在宅福祉事業関連では、コロナ禍のなかでも福祉サービスを利用する方々の命と生活を守るため、訪問介護サービスや子育てSOSサービス、通所介護サービスなど支援を必要とする方々に対して絶え間ないサービスを提供し続けてきました。

また慢性的な人材不足や利用者の減少など、規模が年々縮小する中ではありますが、業務の効率化を図るなど、よりよいサービスの提供を行うため職員研修など質の向上に努めました。

以上により、本会の令和2年度事業は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、一層の充実を図るとともに、法人運営の透明化及び組織の強化を推進し、経営全般の健全化に努めました。

1 理事会・評議員会等開催状況

会議名	年月日	会場	議題
監事会	2年5月20日	福祉団体室	令和元年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業報告並びに社会福祉事業、公益事業及び収益事業決算監査
第1回 理事会	2年5月29日	決議省略	報告 第1号 専決処分の報告について 議案 第1号 令和元年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業報告及び決算 第2号 令和2年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会収支補正予算（第1号） 第3号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会定款の一部変更について 第4号 評議員選任候補者の推薦について 第5号 評議員選任・解任委員の選任について 第6号 評議員選任・解任委員会の開催について 第7号 定時評議員会の開催について
第1回 評議員選任・ 解任委員会	2年6月12日	ボランティア 作業室	議案 第1号 評議員の選任について
定時評議員会	2年6月23日	決議省略	報告 第1号 専決処分の報告について 議案 第1号 令和元年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業報告及び決算 第2号 令和2年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会収支補正予算（第1号） 第3号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会定款の一部変更について
第2回 理事会	2年8月31日	決議省略	報告 第2号 専決処分の報告について 議案 第8号 理事候補者の選考について 第9号 評議員選任候補者の推薦について 第10号 評議員選任・解任委員会の開催について 第11号 評議員会の開催について
第2回 評議員選任・ 解任委員会	2年9月8日	ボランティア 作業室	議案 第2号 評議員の選任について
第2回 評議員会	2年9月15日	決議省略	報告 第2号 専決処分の報告について 議案 第4号 理事の選任について

会議名	年月日	会場	議題
第3回 理事会	3年3月19日	会議室 4	報告 第 3号 会長及び常務理事の職務執行状況について 第 4号 専決処分の報告について 議案 第12号 令和2年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会収支補正予算（第8号） 第13号 令和3年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業計画及び収支予算 第14号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会役員選任規程の一部改正について 第15号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会評議員選任規程の一部改正について 第16号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程の一部改正について 第17号 令和3年度役員等賠償責任保険の契約の締結について 第18号 評議員会の開催について
第3回 評議員会	3年3月26日	たまご ホール	報告 第 3号 専決処分の報告について 議案 第 5号 令和2年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会収支補正予算(第8号) 第 6号 令和3年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業計画及び収支予算 第 7号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程の一部改正について

2 社会福祉事業

(1) 会員体制(会費収入)

本会の目的に賛同する個人、団体及び施設等から納入された会費は、ふれあいサロンや地区社協への助成や法外援護等へ支出し地域福祉の向上のため、有効に活用した。

ア 一般会費

	町内数	元年度世帯数	元年度収入	2年度世帯数	2年度収入
本所	342町内	114,350世帯	12,466,342円	115,033世帯	12,355,708円
倉渕	8町内	1,271世帯	241,600円	1,256世帯	238,800円
箕郷	41町内	7,395世帯	1,214,000円	7,441世帯	1,235,400円
群馬	30町内	16,978世帯	2,321,400円	17,285世帯	2,389,100円
新町	10町内	4,893世帯	921,200円	4,893世帯	922,800円
榛名	62町内	6,972世帯	1,252,200円	6,933世帯	1,244,600円
吉井	36町内	8,856世帯	1,420,050円	8,893世帯	1,370,750円
合計	529町内	160,715世帯	19,836,792円	161,734世帯	19,757,158円

イ 特別・施設会費、団体会費

区 分	会 費 収 入	備 考
特別会費	723,000円	・保護司会 ・長寿会連合会 ・更生保護女性会 ・心身障害者等連絡協議会 ・ボランティアグループ連絡協議会 ・民生委員児童委員協議会 ・婦人会連合会 ・各民生委員児童委員
施設会費	394,000円	・保育園64園・社会福祉施設330ヵ所
団体会費	215,000円	・地区社会福祉協議会33地区
合 計	1,332,000円	

(2) 共同募金

共同募金推進計画に基づき、群馬県共同募金会高崎市支会を通じて本会に配分された配分金を地域福祉の充実を目的とした事業に活用した。

ア 共同募金配分金事業

社協配分金額	配分金内訳	摘 要
11,350,000円	6,311,334円	ふれあいサロン助成金
	5,038,666円	社協広報紙発行費用

イ 歳末たすけあい募金配分金事業

配分金額	配分金内訳	摘 要
440,990円	440,990円	生活困窮者支援団体助成

(3) 金品の寄附

寄せられた寄附金は、その意思を尊重し各種事業に活用するとともに福祉基金に積立を行った。また、寄附物品は施設や団体等に配布し有効に活用した。

ア 一般寄附（現金）

区 分	寄附金額	寄附件数
法 人 運 営	396,962円	13件
善 意 銀 行（ 基 金 ）	1,253,370円	7件
児 童 館	200,000円	4件
合 計	1,850,332円	24件

イ 指定寄附（現金）

区 分	元年度末 残 高	2年度 寄附金額	2年度 寄附件数	2年度支出 金額(件数)	2年度末 残 高	備 考
障害者	111,175,191円	30,000円	1件	7,818,000円 (2件)	103,387,191円	障害者共同 生活援助事 業運営資金 等
高齢者	1,660,496円	110,000円	3件	0円	1,770,496円	
児 童	269,857円	59,397円	1件	0円	329,254円	
その他	2,636,000円	0円	0件	2,386,000円 (1件)	250,000円	福祉バス 運行費用
合 計	115,741,544円	199,397円	5件	10,204,000円 (3件)	105,736,941円	
その他 利息 手数料		利息 7,939円		振込手数料 550円	7,389円	障害者区分 へ繰入

ウ 物品

物 品	数 量	備 考
タオル	726枚	
手作り布マスク	1,461枚	
不織布マスク、布マスク	6,420枚	
その他	—	車いす、紙オムツ、家電製品、雑巾、切手、ポ ケットティッシュ

(4) 地区社会福祉協議会活動の推進

地区社会福祉協議会は、地域住民が自分たちの生活する地域の福祉課題やニーズを主体的に捉え問題解決に向け自発的に取組む組織で、区長、民生委員児童委員、ボランティア等が中心になってさまざまな活動を通じて、市内33全地区で地域福祉づくりを進めている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により予定した事業が実施できないなど大きな影響があったが、感染に配慮した上でできる活動を地区ごとに実施した。

主な活動実績

活動区分	主な内容
研修会等	サロン情報交換会、施設訪問など
見守り活動	友愛訪問、一声かけ運動、ひとり暮らし高齢者友愛事業、 防犯パトロールなど
その他の活動	地区社協だより発行など

(5) 高齢者や子育てサロン活動への支援

高齢者のふれあい・いきいきサロンや、ふれあい・子育てサロンを新規で立ち上げるための相談や情報の提供、活動メニューに対する相談支援、活動費に対する助成などの支援を行った。

ア ふれあい・いきいきサロン活動費の助成

	サロン数	助成金	摘要
元年度	360カ所	15,004,500円	42,000円×356カ所、21,000円×1カ所 14,000円×1カ所、10,500円×1カ所 7,000円×1カ所
2年度	361カ所	15,148,000円	42,000円×359カ所、38,500円×1カ所 31,500円×1カ所

イ ふれあい・子育てサロン活動費の助成

	サロン数	助成金	摘要
元年度	32カ所	1,344,000円	42,000円×32カ所
2年度	30カ所	1,260,000円	42,000円×30カ所

ウ サロン活動の開催に関するアンケート調査の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下において、各サロンの活動状況や活動においてどういった工夫がなされているかなどについて、状況把握するために市内のサロンに対してアンケート調査を実施した。

・調査カ所 430カ所（回答率 94.4%）

(6) 「社協たかさき」の発行

地域住民に広く当協議会事業の周知及び社会福祉に対する啓発を行い、本会と地域住民が連携を密にして社会福祉の向上を図ることを目的に広報を発行した。

発行状況

項目	回数	発行日及び部数
発行回数	3回	9月 1日号 (第85号) 162,700部
		10月 1日号 (第86号) 162,700部
		3月 1日号 (第87号) 163,000部

(7) 福祉バスの運行

新型コロナウイルスの影響により、福祉バスの運行は無かった。

(8) 地域の会議への参加

高齢者あんしんセンターが主催する地域の会議や、高崎市が推進する地域包括ケアシステムの生活支援体制整備事業の会議に地区担当職員が参加し、住民や関係機関等が行うニーズ把握や支えあいの仕組みづくりに協力した。

参加状況

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	計
元年度	185回	11回	8回	22回	17回	8回	17回	268回
2年度	39回	3回	3回	4回	2回	2回	2回	55回

(9) 法外援護

無銭旅行者援護費の貸与や、罹災した世帯へ水害や火災の見舞金として支給を行った。

法外援護支給状況

区分	地域	支給件数	返済件数
無銭旅行者 援護費	本所	16件	2件
	新町	0件	0件
	吉井	2件	0件
	計	18件	2件
罹災援護	全域	14件	—

(10) 子育て支援事業(箕郷)

0歳から3歳の未就園児をもつ親子を対象として、毎月第1・3火曜日に親子ふれあいサークルを行った。子育ての経験を持つボランティアが相談を受けたり、保護者同士の情報交換の場にもなったりしている。

親子ふれあいサークル

- ・開催回数 18回
- ・参加延人数 48組(111人)
- ・ボランティア延人数 40人
- ・内 容 ベビービクス&キッズビクス、写真撮影会、おもちゃ遊び、身長・体重計測 他

(11) 受託事業

○手話通訳者派遣事業

聴覚障害者とその他の方との社会生活上の意思疎通を円滑にするために意思伝達の手段として手話通訳者を派遣した。

また、手話通訳者派遣事業利用者の相談や電話通訳に対応するとともに、必要に応じて関係機関との連絡及び打合せを行った。

ア 登録手話通訳者 54人

イ 設置手話通訳者 4人(高崎市役所1人、高崎市社協3人)

ウ 申請件数 677件

内訳

(単位:件)

	医療健康	権利保持	職業労働	教育保育	生活	福祉	団体活動	会議	大会行事	運転免許	資格取得	冠婚葬祭	その他	合計
元年度	716	14	20	43	60	68	7	29	20	16	2	17	1	1,013
2年度	513	6	14	22	38	44	9	7	10	13	0	1	0	677

エ 手話通訳者派遣人数 604人

内訳

(単位:件)

	登録手話通訳者	他機関手話通訳者	設置(市役所)手話通訳者	設置(市社協)手話通訳者	合計
元年度	723人	9人	28人	245人	1,005人
2年度	397人	0人	22人	185人	604人

オ 設置(市社協)手話通訳者対応件数

内訳

(単位:件)

	相 談	電話通訳	連絡・打合せ	コーディネート
元年度	705件	229件	570件	2,082件
2年度	598件	146件	291件	1,371件

- カ 高崎市手話通訳事業等運営委員会開催 4回(うち2回は書面にて開催した。)
- キ 登録手話通訳者現任研修 0回(新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。)
- ク 頸肩腕障害特殊健診受診 5人
(設置手話通訳者、及び登録手話通訳者の内、群馬県に登録のない手話通訳者を対象とする。)

○第43回たかさき市民福祉大会(高崎市と共催)

市民が共に支え合い、住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進することを目的として、2月15日(土)高崎市文化会館において「第43回たかさき市民福祉大会」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け中止。

なお、永年により福祉分野におけるボランティアとして貢献された方々や社会福祉事業に多額の金品のご寄附をいただいた方への表彰及び地域福祉社会の福祉増進に努められた団体に感謝状を贈呈した。

受賞者

- ・ボランティア顕彰 個人10人、団体3団体
- ・社会福祉事業功労者表彰 個人1人、団体1団体
- ・感謝 団体1団体

○吉井東学童クラブの経営(吉井)

保護者が仕事等により昼間留守になる家庭の児童を対象として、遊びや生活の場を提供し、放課後児童の健全育成を行った。

利用状況

	開所日数	在籍数	年間利用延人数
元年度	285日	25人	4,458人
2年度	290日	25人	4,316人

(1 2) 福祉ボランティアの町づくり事業

市民がともに手を取り合い心のふれあうまちづくりを推進するため、ボランティアセンターを運営し、各種ボランティア講座の開催や啓発行事の実施、情報提供、ボランティアコーディネートを行いボランティア活動の活性化を図った。

ア 主催行事等

期 日	行 事 名	内 容	会 場	参加者
10月27日 11月10日	シニア傾聴ボランティア養成講座	傾聴ボランティア活動における、認知症高齢者やうつ傾向のある高齢者への傾聴について必要な知識・技術を学ぶため開催した。	市総合福祉センター	30人
1月19日	シニア傾聴ボランティア スキルアップ講座	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止		

※第34回高崎ふれあいの広場は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催中止

イ ボランティア相談・コーディネート

・ボランティア相談受付数

ボランティアセンターに寄せられた相談に対応し、助言や情報提供を行った。

また、ボランティアを必要とする団体や施設からのニーズを受け、ホームページへの掲載やコーディネートを行った。

	元年度	2年度
相談件数	159件	359件
ニーズ受付数	129件	57件

ウ ボランティアグループ登録状況

市内で活動するボランティアグループの登録を受け、活動状況を把握した。

	元年度	2年度
グループ数	147団体	132団体
人 数	6,728人	5,354人

エ ボランティアグループ活動補助金の交付

社会福祉活動の増進を目的として市内で活動するボランティアグループに対して、活動費の一部を補助した。

	補助団体数	金 額
元年度	63団体	1,489,600円
2年度	59団体	1,310,050円

オ 車いす等対応車両貸出サービス事業

高齢者や障害者の通院、通所、買物などの日常生活や、家族旅行や冠婚葬祭などの外出を支援するため、車いす等対応車両の貸出サービスを実施した。

貸出件数

	本所	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
元年度	91件	97件	70件	52件	43件	58件	411件
2年度	78件	84件	41件	34件	54件	33件	324件

カ 福祉用具貸出事業(車いすの貸出)

一時的に車いすが必要な方に対して、車いすの貸し出しを行った。

車いす貸出申請件数(団体貸与含む)

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
元年度	247件	2件	28件	47件	10件	46件	28件	408件
2年度	131件	2件	16件	40件	9件	20件	12件	230件

キ 福祉教育の推進

福祉教育を推進する中で、幼少期や児童期に福祉への理解と関心を高めることが期待されている。また、企業においては高齢社会を迎え、高齢者や障害のあるお客様が増加していることから、スタッフへの福祉教育が求められている。依頼のあった学校や企業に、福祉用具の貸し出しや職員が出向いての指導を行なった。

(単位:回)

地域	貸出講師派遣数	内 容
本所	小学校 5	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、簡易点字器貸出、アイマスク貸出 車いす体験・介助指導、高齢者疑似体験指導 ブラインドウォーク・ガイドヘルプ指導、福祉講話 ※スクールサポーター派遣(3回)
	高等学校 2	
	大学 1	
倉渕	中学校 1	車いす体験学習、高齢者疑似体験指導
箕郷	小学校 3	高齢者疑似体験、ブラインドウォーク体験、車いす体験
群馬	小学校 3	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、車いす体験学習
	中学校 1	
	企業・団体等 2	
新町	小学校 1	新町長寿センター施設見学、ゲストティーチャー(高齢者等に関するQ&A)
榛名	小学校 5	高齢者疑似体験用具貸出、車いす体験学習、高齢者疑似体験 ※スクールサポーター派遣(4回)
吉井	小学校 1	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出

ク 社会福祉協力校事業

学童・生徒がボランティア活動の体験をとおして社会福祉の理解と関心を深め、地域に密着した福祉教育の推進を図るため、県社会福祉協議会が「社会福祉協力校」や「地域指定福祉協力校」を指定している。指定を受けた学校の福祉教育活動が円滑に実施されるよう調整及び協力・支援を行った。

学校名	指定期間	内 容
高崎経済大学附属高等学校	令和2年度	募金活動、フードドライブへの協力、オンライン交流会、ペットボトルキャップ回収

ケ 買物困難者等への支援

○高齢者等買物代行業

日常的な買物に困難を抱えている高齢者等を対象に、登録ボランティアによる日常生活用品の買物を代行する高齢者等買物代行業を実施した。広報等で広く市民に事業周知を行うと共に、長寿会や婦人会のボランティア協力を得て、円滑な利用促進に努めた。

また、利用者それぞれの状況に合わせてボランティアとのマッチングを行い、週に1回から月に1回の頻度で買物代行を実施した。

利用者と定期的に顔を合わせるボランティアならではの気づきが安否確認をはじめ、その他の生活課題の把握へつながり、その後も行政や高齢者あんしんセンター等と協力、連携しながら関わりを持った。

実施状況

項目	元年度	2年度
登録ボランティア数	203人(男性46人、女性157人)	216人(男性47人、女性169人)
利用者登録数	115人	130人
延べボランティア稼働数	677人	625人
延べ利用者数	806人	778人
延べ代行稼働件数	2,743件	2,658件

○倉渚地域高齢者買い物支援事業

倉渚地域内の買い物等弱者対策のため、公共交通空白地有償運送の制度により自宅から倉渚地域内の商店や金融機関、医療機関等まで、有償運転ボランティアが送迎するサービスを行った。

・運行日時及び運行地域 毎週月～金曜日 9:00～17:00(倉渚全域)

実施状況

項目	元年度	2年度
運転ボランティア	7人	6人
利用登録者数	61人	74人
運行回数	240回	321回
延べ利用者数	314人	385人

コ 傾聴ボランティア派遣事業

日頃から人と接する機会の少ない高齢者に対し、話し相手をしながら時間を共有することで、より充実した日常生活を過ごせるよう支援するため、傾聴ボランティアを派遣した。

実施状況

	地域	本所	倉渚	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
元年度	利用者実数	25人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	28人
	訪問回数	296回	0回	13回	23回	0回	11回	0回	343回
2年度	利用者実数	12人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	14人
	訪問回数	85回	0回	0回	27回	0回	0回	0回	112回

※傾聴ボランティア登録者数 82人

サ 各種保険の加入促進

ボランティア活動中のさまざまな事故による怪我や損害賠償責任を補償するボランティア活動保険や行事用保険等への加入を促進するとともに、事故対応等の事務手続きを行った。

	ボランティア活動保険	行事用保険	福祉サービス総合補償	送迎サービス	サロン保険	事故取扱
元年度	8,338人	201件	13件	3件	473件	23件
2年度	6,029人	52件	12件	4件	241件	5件

シ 収集物の受け入れ

学校や企業、団体等から寄せられたエコキャップ等の収集物を受入れ、有効に活用した。

品目	数量等	活用内容
エコキャップ	690kg	エコキャップ推進協会を通じて換金され、海外の医療支援・ワクチン支援や障害者支援、環境教育等、様々な社会貢献活動に充当
使用済み切手	段ボール箱3箱	県内の障害福祉施設に送り、利用者の余暇活動の制作材料として活用

(13) 生活福祉資金貸付事業

○生活福祉資金

関係機関と協力し、援助が必要な低所得者世帯等に資金の貸付や相談支援を行った。また、生活困窮者自立相談支援事業における支援調整会議に出席し、市との連携を図った。なお、市において、生活保護申請者で緊急的に一時的な生活費を必要とする方に貸付を行う、つなぎ資金貸付事業では、市に原資を預け運用をしてもらった。

- ア 償還戸別訪問件数 0件 ※令和2年度は訪問活動が中止
 イ 支援調整会議出席回数 9回

ウ 生活福祉資金貸付及び償還業務

	貸 付		償 還		償還完了
	件数	金 額	件数	金 額	
元年度	15件	3,373,000円	1,081件	11,609,871円	24件
2年度	33件	16,191,250円	1,283件	13,836,481円	41件

エ つなぎ資金貸付件数 1件(貸付金額 1,000円)

○新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、休業等により収入の減少があり、一時的な資金が必要な世帯や生活の立て直しのための資金が必要な世帯に貸付を行った。

ア 年間延べ相談件数 3,557件

イ 資金別申請件数と申請金額

名称	申請件数	申請金額
緊急小口資金	3,459件	634,890,000円
総合支援資金	2,565件	1,343,710,000円
総合支援資金 延長	944件	500,960,000円
総合支援資金 再貸付	338件	178,050,000円
合計	7,306件	2,657,610,000円

(14) 日常生活自立支援事業

高崎市に在住する認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力の不十分な人を対象に、契約に基づき日常的な金銭管理の援助や通帳・印鑑の預かり等を適切に行った。

ア 相談件数

	元年度	2年度
認知症高齢者	2,475件	2,461件
精神障害者	2,050件	2,955件
知的障害者	501件	570件
その他	7件	1件
合計	5,033件	5,987件

イ 契約状況及び課税状況の内訳

	年度別契約締結件数		実利用者件数(3月末現在)	
	元年度	2年度	元年度	2年度
認知症高齢者	20件	18件	69件	69件
精神障害者	9件	7件	29件	31件
知的障害者	5件	3件	22件	24件
合計	34件	28件	120件	124件
課税世帯	5件	3件	13件	13件
非課税世帯	12件	7件	45件	47件
生活保護世帯	17件	18件	62件	64件
合計	34件	28件	120件	124件

ウ 生活支援員登録者数 36人(任期:平成31年4月1日～令和3年3月31日)

エ 生活支援員雇用者数 28人

(15) 福祉人材バンク事業

福祉関係の求人の受付、就職の斡旋のほか福祉の仕事に関する広報啓発活動、就職ガイダンス、福祉の仕事相談会等の福祉人材開発事業を実施した。

また、マッチング機能強化事業による個々の求職者にふさわしいマッチング支援や職場開拓を行った。

ア 相談件数 求人相談 1,708件
求職相談 1,253件

イ 取扱状況

求人数	求人件数	求職者数	紹介数	採用者数	窓口利用者数
3,063人	1,589件	464人	104件	78人	462人

ウ 福祉人材確保等に関する事業の実施

・福祉の仕事相談会の開催

期 日	会 場	参加法人	参加者数
令和2年 9月11日 (金)	高崎市労使会館	9法人	26人
10月16日 (金)	高崎市市民活動センター「ソシアス」	10 法人	11人
11月20日 (金)	高崎市労使会館	14法人	22人
令和3年 1月22日 (金)	高崎市労使会館	19法人	27人

・就職ガイダンスの開催

期 日	会 場	内 容	参加者数
令和2年 9月25日 (金)	高崎市労使会館	介護・福祉の仕事 魅力発見	7人
12月18日 (金)	高崎市労使会館	自分にあった働き方	18人

エ 施設説明会の開催

期 日	会 場	参加者数
令和2年 10月29日 (木)	社会福祉法人緑陽会 介護老人保健施設コロン	4人
11月26日 (木)	株式会社ひらかわ 住宅型有料老人ホームひらかわ	4人
11月27日 (金)	社会福祉法人ゆずりは会 障害福祉サービス事業所エール	5人

オ 出張相談会の実施

会 場	相 談 日	相談件数
ハローワーク安中	毎月第3火曜日	20件
ハローワーク富岡	毎月第4水曜日	4 件
ハローワーク藤岡	毎月第4火曜日	0件

(16) 介護保険居宅介護支援事業・介護予防支援事業

ア 介護や支援を必要としている高齢者が、心身の状況や置かれている環境、希望に応じて、適切な介護サービスが利用できるように、介護計画の作成や必要な関係機関との連絡調整を行った。また、市内居住者の介護保険の認定調査を行った。

事業所別実施状況(延人数)

(単位:人)

		中央居宅介護 支援センター		北部居宅介護 支援センター	
		元年度	2年度	元年度	2年度
居宅介護支援		1,891	1,727	1,899	1,505
受 託	介護予防プラン	331	305	333	244
	介護予防ケアマネジメント	221	131	409	249
	要介護認定訪問調査	72	44	5	2

イ 高齢者が自立した生活ができるよう、要支援1・2と認定された人やサービス事業対象者への計画書を作成した。

プラン等作成状況

サービス種類	項目	区分	元年度	2年度
介護予防支援	予防プラン作成数	直営	96件	101件
		委託	1,430件	1,277件
介護予防ケアマネジメント	総合事業プラン等作成数	直営	183件	158件
		委託	1,533件	1,245件

(17) 介護保険等訪問介護事業

ア 介護保険サービス

ホームヘルパーが利用者宅を訪問し、身体介護や生活援助等を行った。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	元年度	2年度	元年度	2年度
訪問介護 ※1	1,022人	851人	629人	487人
介護予防訪問 介護相当※2	706人	547人	411人	407人

※1 対象者は要介護認定者

※2 対象者は要支援認定者及び総合事業対象者

イ 介護保険外サービス

高崎市から受託した「高崎市子育てSOSサービス事業」として、妊娠期から就学前児童の保護者の精神的・身体的負担の軽減のため、要請に基づいてヘルパーを派遣し、育児・家事等の必要なサービスを行った。

実施状況(延人数)

	元年度	2年度
子育てSOSサービス事業(受託)	2,498人	2,669人

ウ その他サービス

道路運送法の規定に基づき、事業所所有の車両で目的地まで有償で送迎した。

事業所別実施状況(延人数)

	北部訪問介護センター(榛名)	
	元年度	2年度
福祉有償運送 ※	154人	86人

※対象者は、総合事業対象者、要支援認定者及び要介護認定者

(18) 介護保険等通所介護事業

利用者に食事や入浴等の介護サービスや機能訓練を行った。

事業所別実施状況(延人数)

(単位:人)

	倉渕デイサービスセンター		群馬デイサービスセンター		吉井デイサービスセンター	
	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度
通所介護	352	268	181	197	314	294
介護予防通所介護 ※	197	199	144	138	131	111

※介護予防・日常生活支援総合事業の予防通所介護相当サービスが含まれる。対象者は要支援認定者及び総合事業対象者(要介護認定なしで高崎市指定のアセスメントシート2015により審査認定された方)

(19) 障害者総合支援訪問介護事業

ア 障害福祉サービス

日常生活に支障のある障害者(児)の家庭に、ホームヘルパーを派遣し、自分で出来る事はしてもらい、出来ない事を支援することにより、障害の状況や家族の状況等にに応じて在宅での生活を援助した。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	元年度	2年度	元年度	2年度
居宅介護 ※1	497人	421人	169人	148人
同行援護 ※2	79人	74人	-	-

※1 対象者は、身体・精神・知的障害者(児童含む)であり、高崎市より支給決定されたサービス支給量の範囲内で契約し、身体介護・家事援助・通院介助サービス等を行った。

※2 対象者は、視覚障害者であり、高崎市より支給決定されたサービス支給量の範囲内で契約し、一緒に買い物や散歩等を提供

イ 移動支援事業

指定障害福祉サービス事業所として、高崎市から受託し、市内に居住している障害者及び障害児を対象に高崎市移動支援事業実施要綱に基づいて、外出支援を行った。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	元年度	2年度	元年度	2年度
移動支援(受託)※	49人	31人	0人	0人

※利用者は、主に精神障害者や知的障害者

(20) 障害者総合支援生活介護事業(基準該当生活介護)

障害者総合支援法に基づき、地域で生活介護を受けることが困難な障害者に基準該当生活介護(デイサービス)として、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援及び介護並びに機能訓練等を行った。

群馬デイサービスセンター 利用者 2人

(21) 児童発達支援・放課後等デイサービス(はばたき)

利用児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行った。

「はばたき」利用状況

	開所日数	在籍数	年間延利用人数
元年度	290日	23人	2,206人
2年度	294日	19人	2,063人

(22) 高崎市社会就労センターセルフ楽間

○就労継続支援B型

一般企業に就労及び適応することが困難な障害を有する方に対し、福祉的就労の場や生産活動の機会を提供し、個別支援計画に沿った就労継続支援B型サービスを通じて利用者の自立支援に努めた。

ア 利用定員 20人(在籍数:16人)

イ 開所日数 243日

ウ 延べ利用人数 3,801人

エ 就労支援事業内容 (2グループ体制で実施)

- ・組立、分解作業(ダンボール緩衝材、水道メーター等)
- ・検品作業(ポーチ、ケース、カー用品、アウトドア用品等)
- ・パッケージング作業(ホチキス針、ネジ、アウトドア用品、建材等)
- ・清掃、除草作業(公共施設の除草、公立高校の清掃)
- ・売店作業(高崎市片岡及び六郷長寿センター内売店)

オ 就労支援事業状況

上記生産活動等により、7,628,480円の売上高を得て、必要経費を控除した7,022,767円を利用者に工賃として支給した。

カ 利用者家族と連携を図るための家族連絡会は、例年年2回開催であるが、新型コロナウイルス対策のため開催を見送った。

キ 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、納会を開催した。

ク 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

(23) 吉井障害者自立支援センター(こはぎ)

○就労継続支援B型

一般企業に就労及び適応することが困難な障害を有する方に対し、福祉的就労の場や生産活動の機会を提供し、個別支援計画に沿った就労継続支援B型サービスを通じて利用者の自立支援に努めた。

ア 利用定員 20人(在籍数:19人)

イ 開所日数 243日

ウ 延べ利用人数 3,817人

エ 就労支援事業内容

- ・製造、販売作業(花卉の生産販売、花壇管理)
- ・組立作業(自動車部品等)

- ・清掃作業(吉井福祉センター)
 - ・売店作業(高崎市片岡及び六郷長寿センター内売店)
- オ 就労支援事業状況
上記生産活動等により8,329,501円の売上高を得て、必要経費を控除した5,532,233円を利用者に工賃として支給した。
- カ 利用者家族と連携を図るため、「保護者会」を3回予定したが、コロナ禍のため全て中止とした。
- キ 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、慰労会、誕生会、その他の季節行事を開催した。また、地域との交流を図るため「福祉センター・こはぎ祭」を予定していたが、コロナ禍のため中止とした。
- ク 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

○生活介護

常時介護や援助を必要とする障害を有する方に対し、入浴・排泄及び食事時等の介護、創作又は生産活動の機会の提供及びその他必要な支援や訓練を実施し、個別支援計画に沿った生活介護サービスの提供を通じて、利用者の自立支援に努めた。

- ア 利用定員 10人(在籍数:10人)
- イ 開所日数 243日
- ウ 延べ利用人数 2,108人
- エ 生活介護事業内容
- ・食事、排泄時等の個々に必要な介護
 - ・入浴(月・木)、音楽活動(金)、レクリエーション、歩行訓練・外気浴 等
 - ・日常生活・身体機能等の維持向上訓練
 - ・生産活動(組立作業等)、創作活動(マット編み等)
- オ 利用者家族と連携を図るため、「保護者会」を3回予定したが、コロナ禍のため全て中止とした。
- カ 利用者の教養・娯楽活動の一環として、誕生会、その他の季節行事を開催した。また、地域との交流を図るため「福祉センター・こはぎ祭」を予定していたが、コロナ禍のため中止とした。
- キ 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

(24) 障害者共同生活援助事業(グループホーム一歩)

認知症対応型共同生活介護事業終了後、施設改築を実施。令和3年1月、障害者総合支援法の障害者共同生活援助事業(介護包括型)として認可を受け、知的障害のある女性の利用に特化したサービスを開始した。

- ア 入居定員 7人(1ユニット全個室7室、体験入居用1室)
- イ 利用者の支援区分 2~4

年間利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1人	1人	1人
体験者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1人	1人	1人

(25) 地域活動支援センター(さくらそう・こぼと)

利用者が生活訓練や作業を通じて社会生活に対応できるよう援助した。

ア 開所日数及び利用者在籍状況

施設名	定員	在籍者数	開所日数	年間利用人数
箕郷福祉作業所	20人	15人	240日	3,182人
群馬福祉作業所	10人	7人	243日	1,286人

イ 作業内容

○箕郷福祉作業所(さくらそう)

- ・就労支援 ホチキス針箱詰、布団生地分別リサイクル作業、野菜パッケージング作業、塩化マグネシウム分別作業、福祉会館清掃、内職作業、オリジナル製品製作、長寿センター売店業務
- ・自立支援 生活訓練、当番活動、みんなの会(年12回)
- ・行事・レクリエーション事業
体操指導(年12回)、音楽指導(月1~2回)、季節行事(こいのぼりの会、七夕、レクリエーション大会、クリスマス会、豆まき、ひな祭り)
- ・その他 保護者会(年1回)、運営委員会兼保護者会(年2回)

○群馬福祉作業所(こぼと)

- ・就労支援 ホチキス針箱詰・袋詰、塩化マグネシウム分別作業、オリジナル製品製作、長寿センター売店業務
- ・行事・レクリエーション事業
花見、暑気払い、納涼祭、クリスマス会
- ・その他 家族会(年1回)

(26) 児童館事業

児童が健全で安全な遊びを通じて、心身の発達を図り豊かな情操を育むことを目的に運営する。年齢が異なる児童が交流する中、多様な遊びや活動に参加できるよう工夫し、地域での子育ての拠点として活用されている。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響で、4月8日から5月15日まで閉館となり、開館後はコロナ禍のなか、3密の回避、マスクの着用、消毒等を徹底して行い、来館者が安心、安全に利用ができるよう環境を整え運営を行った。

利用状況

施設名	年度	開催日数(日)	児童(人)	保護者(人)	合計(人)	主な事業内容
倉賀野児童館	元年度	290	8,981	6,580	15,561	おもちゃの日、季節の行事、親子遊び、誕生会、子育て講座、卓球、習字・絵画・工作教室等
	2年度	264	3,399	2,657	6,056	
豊岡児童館	元年度	290	7,440	4,655	12,095	
	2年度	264	3,618	2,660	6,278	
井野児童館	元年度	290	11,827	9,220	21,047	
	2年度	264	6,639	5,556	12,195	
群馬児童館	元年度	290	12,107	8,879	20,986	
	2年度	264	7,284	5,916	13,200	

(27) 長寿センター事業

60歳以上の市民の健康づくりを推進するとともに、各教養教室開催等により福祉の増進を図った。

利用状況

施設名	年度	開館日数	利用人数	実施事業
群馬長寿センター	元年度	290日	52,052人	各種教養教室 介護予防体操
	2年度	223日	23,389人	
新町長寿センター	元年度	239日	14,408人	介護予防教室等
	2年度	184日	5,104人	
新町鉄南長寿センター	元年度	240日	11,016人	
	2年度	185日	6,197人	

(28) 各団体事務局の運営及び支援

- ア 群馬県共同募金会高崎市支会事務局の運営
- イ 高崎市民生委員児童委員協議会事務局の運営
- ウ 倉渕、箕郷、群馬4地区、新町、榛名及び吉井地区民生委員児童委員協議会の支援
- エ 地区社会福祉協議会事務局の運営(倉渕、箕郷、群馬、新町、榛名、吉井)
- オ 高崎市ボランティアグループ連絡協議会事務局の運営
- カ 高崎地区更生保護女性会事務局の運営
- キ 高崎地区更生保護女性会支部への支援(箕郷、群馬)
- ク 高崎市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会事務局の運営
- ケ 地区長寿会連合会への支援(倉渕、箕郷、新町、榛名、吉井)
- コ 箕郷町身体障害者団体、箕郷町心身障害児者父母の会及び箕郷地区の各ボランティア団体への支援
- サ 高崎市身体障害者団体連合会群馬支部、高崎市手をつなぐ育成会群馬支部及び群馬地区ボランティアグループ連絡協議会への支援
- シ 新町母子寡婦会への支援、
- ス 榛名地区身体障害者団体、榛名地区ボランティアグループ連絡協議会及び榛名療育父母の会への支援
- セ 吉井町ボランティアの会、吉井町身体障害者連合会及び吉井心身障害児(者)父母の会への支援

(29) フードドライブ事業

「もったいないをありがとう」をスローガンに企業や法人等に呼びかけ、家庭で余っている食品を募り、食料の確保が困難な団体や子ども食堂、生活困窮者支援を行う団体に寄附を行った。

- ア 歳末時期での実施
 - ・期 間 令和2年12月1日(火)～令和3年1月5日(火)
 - ・協力団体 社会福祉法人5法人、学校法人4校、企業4社
 - ・寄附数 2,539点
- イ その他(社協窓口受付)
 - ・上記以外での寄附数 3,582点(43件)

(30) 物品の受入れと配布

企業から物品を受入れ、市内大学や福祉施設等に配布を行った。

- ア 食料品等段ボール116箱 市内大学5校に配布
- イ 災害備蓄品等10,501点 福祉施設等36箇所に配布

(31) 社会福祉関係実習生の受入れ

社会福祉関係の大学や専門学校、看護学校等から実習生を受け入れ、将来の地域福祉を担う学生等に対し、社会福祉協議会の業務について実習指導を行った。

実習受入れ状況

内 容	受入数
社会福祉相談援助実習	6人
社会福祉相談援助基礎実習	14人
生徒職場体験研修(高校生)	2人
産業現場実習	2人

3 公益事業

(1) おもちゃの図書館事業

発達の遅れが心配な子どもたちが、たくさんのおもちゃと豊かな遊びを通じて言語等の発達や社会性が育まれるよう支援した。

ア おもちゃの図書館「あひる」

- ・開設場所 高崎市総合福祉センター1階
- ・開館日 毎週水・金曜日及び第1~4火曜日

イ 利用状況

	元年度		2年度	
	児 童	保護者等	児 童	保護者等
利用者人数	359人	345人	53人	52人
開館日数	104日		76日	

※新型コロナウイルスの影響により、発達相談、季節の制作、諸行事は実施を見合わせた。

(2) 福社会館事業(指定管理)

福祉センター2館と福社会館2カ所の指定管理を市から受け、施設の有効利用に努めた。

利用状況

施設名	元年度		2年度	
	開館日数	利用者人数	開館日数	利用者人数
倉渕福祉センター	316日	54,098人	222日	26,302人
箕郷福社会館	290日	6,358人	273日	1,770人
群馬福社会館	290日	39,196人	273日	25,206人
吉井福祉センター	291日	17,838人	273日	11,310人

(3) 高齢者あんしんセンターの運営(受託事業)

高崎市内にある日常生活圏域46ヶ所のうち、北・東・西地区を担当し、地域住民の保健福祉の向上及び福祉の増進を目的に、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のための支援を包括的に行った。

ア 総合相談支援業務

地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、積極的に地域に出向き、相談を受け、適切な保健・医療・福祉サービス関係機関や制度利用につなげる支援を行った。

項目		元年度	2年度
相談件数合計(延べ)		2,595件	3,581件
相談方法	電話	1,826件	2,797件
	来所	393件	309件
	訪問	321件	414件
	その他	55件	61件
主に認知症に係る相談(延べ)	65歳以上	29人	241人
	65歳未満	1人	4人

イ 権利擁護業務

地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題解決ができない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状態にある高齢者が、地域において安心して尊厳ある生活を行うことができるように支援した。

延べ件数

項目		元年度	2年度
権利擁護に関する相談		40件	143件
相談内容	成年後見	13件	14件
	措置の支援	6件	35件
	地域福祉権利擁護	7件	7件
	高齢者虐待	4件	82件
	消費者被害	10件	5件

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等多職種の機関が連携をし、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的なケアマネジメントが実現できるように後方支援を行った。

	ケアマネ個別 相談件数	支援事業 (研修会等)実施
元年度	651件	2件
2年度	876件	2件

エ 地域ケア会議の推進

介護支援専門員、地域関係者、介護サービス事業者、保健医療関係者等の他職種が参加し、多角的視点から検討を行い課題解決に向けて地域ケア会議を開催した。

	地域ケア会議
元年度	2件
2年度	1件

オ 認知症施策の推進

認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるように、認知症専門医療機関や介護サービス従事者等、地域において認知症の人を支援する関係機関との連携を図った。また、地域住民が認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう啓発活動を行なった。

	認知症サポーター養成講座	認知症についての講話	認知症カフェ
元年度	1回	7回	8回
2年度	0回	3回	0回

カ 在宅医療・介護連携の推進

在宅医療に関する相談について、在宅医療・介護連携拠点へ情報を提供し、連携を図る。また、市と協働して在宅医療・介護サービスの提供体制の整備を推進した。

キ 生活支援サービスの体制整備

第2層協議体(北・東・西地区)では、日常生活圏域等における各地域の支え合いの創出に向けて協議体を設置した。社会資源やニーズに関する情報収集、生活支援の担い手の養成、資源・サービスの開発や関係者のネットワーク化に向けての検討会を月1回の定例会として開催した。

・開催状況

開催名	開催日	参加人数
第38回協議体会議	令和2年7月15日	14人

ク 一般介護予防事業

筋力体操やストレッチ等の介護予防に取り組むことによって、自立の促進を図り、社会参加意欲を高めた。

	事業名	開催数	延べ参加人数	備考
元年度	元気はつらつ教室	39回	472人	13回×3クール
2年度	元気はつらつ教室	0回	0人	コロナ感染症のため

ケ 地域が実施する活動への支援

サロン等の充実に向けて支援する中で、介護予防の普及啓発を行った。

	地区サロン
元年度	70回
2年度	20回

コ 地域の関係機関との連携

地域関係者や介護サービス事業者、保健医療関係者等との連携を図り、地域の高齢者の見守りや支援についての情報交換や高齢者本人の課題解決について話し合いを行った。

	地域連携会議	運営推進会議
元年度	6回	7回
2年度	3回	0回

サ 在宅福祉サービスに関する業務

高齢者が介護保険外の高齢者在宅サービスを適切に利用できるように支援した。

項目	元年度	2年度
高齢福祉サービス申請手続き代行	153件	103件

(4) 生活困窮者自立相談支援事業

市役所社会福祉課生活支援担当に、職員4名を出向させ、生活困窮者自立支援制度に基づく相談支援業務に従事した。

ア 実施状況

	新規相談件数	継続相談件数	プラン作成件数	就労者数	増収者数
元年度	485件	2,195件	66件	27人	5人
	計2,680件				
2年度	2,123件	3,356件	115件	43人	5人
	計5,479件				

イ 支援調整会議の開催(年12回)

相談員が作成した支援プランについて、ケースごとに専門機関の関係者を集めて協議検討した。

(5) 成年後見事業

日常生活自立支援事業の利用者などが、判断能力が低下した後にも引き続き住み慣れた地域で安心して生活できるよう法人後見の受任を行った。

ア 成年後見事業運営委員会の開催

- ・日 時 令和2年7月21日(火)
- ・会 場 高崎市総合福祉センター
- ・出席者数 6人(弁護士、医師、司法書士、社会福祉士、行政、社協)
- ・内 容 利用者案件について

イ 受任件数 2件

- 継続 1件(類型:後見)
- 新規 1件(類型:保佐)

4 収益事業

財源確保のため収益事業を行い、健全な経営と利益の効率化に努めた。

種 別	場 所	従業員数	備 考
売 店 経 営	斎場会館	3人	通年(友引の日以外)
	倉渕福祉センター	2人	通年
	六郷長寿センター内 片岡長寿センター内	-	通年(月～水曜日、金曜日)
自動販売機設置	2カ所5台	-	通年 中央公民館 1台 染料植物園 4台
自賠責保険取扱い	本所	-	通年 取扱件数 132件

※六郷・片岡長寿センター内売店については、セルフ楽間、箕郷福祉作業所、群馬福祉作業所、吉井障害者自立支援センターこはぎに業務委託し、職員と施設利用者が、飲料・菓子等の販売に加えて、施設オリジナル製品（花苗、手芸品等）も販売した。

※自賠責保険取扱い業務は令和3年3月で終了。